

# 伊勢国府跡 5

2003年3月

鈴鹿市教育委員会



6ALC-D区 全景(西から)



6AJJ-D区 SD144(南から)

Color Plate 2



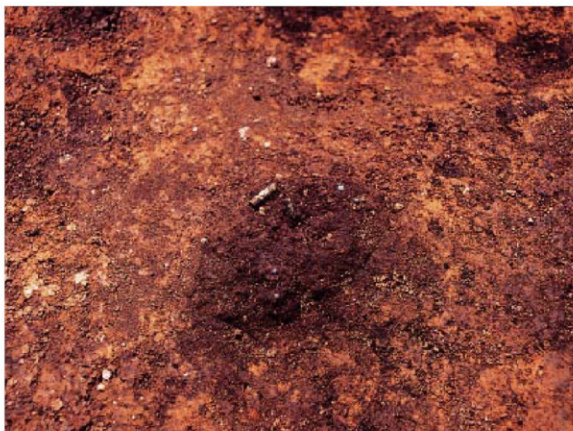
6AJE-C区 全景(東から)



6AJC-G区 全景(東から)



SX157ガラス玉出土状況(北から)



SX157ガラス玉・管玉出土状況(西から)



管玉・ガラス玉

## 例言

1. 本書は、国庫・県費補助事業として鈴鹿市教育委員会が2002（平成14）年度に実施した長者屋敷遺跡ほか発掘調査事業のうち伊勢国府跡（長者屋敷遺跡・第15次）の調査概要をまとめたものである。

2. 発掘調査は以下の体制で実施した。

調査主体	鈴鹿市教育委員会（教育長 山下 健）		
調査指導	大場範久（神戸高等学校教諭）		
	川越俊一（奈良文化財研究所）		
	高瀬要一（奈良文化財研究所）		
	八賀 晋（三重大学名誉教授）		
	渡辺 寛（皇學館大学教授）		
	文化庁文化財保護部記念物課	三重県教育委員会生涯学習分野文化財保護チーム	
	三重県埋蔵文化財文化財センター	斎宮歴史博物館	
調査担当	鈴鹿市考古博物館		
組織及び構成	参事兼鈴鹿市考古博物館長	林 銀哉	
	副参事兼埋蔵文化財グループリーダー	中森成行	
	埋蔵文化財グループ指導主事	北条正則	川合圭子
	副主幹	藤原秀樹	
	副主査	鈴木孝幸	田中忠明
	嘱託	吉田真由美	林 和範

3. 調査を実施した箇所及び面積は以下のとおりである。

Tab. 1 調査区一覧

地区記号	所在地	面積㎡
6A L C-D	三重県鈴鹿市西富田町字矢卸1015番8	486.0㎡
6A J J-D	三重県鈴鹿市広瀬町字矢下1154番	563.5㎡
6A J E-C	三重県鈴鹿市広瀬町字矢下1120番1	65.7㎡
6A J C-G	三重県鈴鹿市広瀬町字矢下1125番	68.9㎡
	合 計	1184.1㎡

4. 調査期間は2002年4月24日から2002年8月12日までである。

5. 現地調査は前記係員のうち主に川合・吉田が担当し、中森・藤原の協力を得た。

6. 本書の編集・執筆は藤原の指導のもと、吉田が担当した。遺物の実測は下記屋内整理員のうち別府・水谷が行い、遺物の写真撮影は新田剛（鈴鹿市考古博物館学芸員）が行った。

7. 調査参加者は以下のとおりである。

〔現地調査〕江藤栄生・江藤経子・小河茂・小河清角・水野豊・森明

〔屋内整理〕片岡貴美子・神田梢・杉本恭子・別府智子・水谷由起子・坂下日向

8. Plate. 1では国土地理院発行1:50,000四日市・亀山の一部を使用した。

9. 今回検出した遺構は以下のとおりである。

Tab. 2 遺構一覧

S D : 溝	S T : 竪穴住居	S K : 土坑	S X : 土坑墓
144・147・148・158	155	145・146・150・152	149・151・153
163・164・165・166		156・160・162	154・157・161

10. 座標は過去の調査との整合性を保つため、国土地標第VI系を用いている。図中の方位は座標北を示す。

11. 調査区は必要に応じて、3mグリッドに分割し、北西のX・Y座標から下3桁を組み合わせてグリッド名とした。

例) X=124390・Y=45710の場合、390・710

12. 本調査にかかる遺物・図面・写真は全て鈴鹿市考古博物館が保管している。

調査及び報告書刊行にあたっては上記指導委員の先生方の他に地権者ならびに地元各位をはじめ下記の方々のお世話になりました。記して感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

佐野寿一・宮崎照子・田中四郎・森尾明・広瀬町自治会・西富田町自治会・中富田町の山自治会・中富田町の町自治会・石毛彩子・泉雄二・宇河雅之・大川勝宏・加藤真二・河北秀実・駒田利治・杉谷政樹・竹内英昭・辻公則・早野浩二・村山邦彦・山澤義貴・山中敏史・吉水康夫

## 本文目次

I. はじめに	1	III. まとめ	4
II. 遺構と遺物	2	英文目次・要旨	6

## 表目次

Tab. 1 調査区一覧	例言	Tab. 4 管玉観察表	4
Tab. 2 遺構一覧	例言	Tab. 5 ガラス玉観察表	5
Tab. 3 調査履歴	1	Tab. 6 報告書抄録	29

## 図版目次

Plate 1 周辺の遺跡(1:100,000)	7	東から)／6ALC-D区SD148東断面(南から)	
Plate 2 調査区位置図(1:5,000)	8	／6ALC-D区SX157検出状況(北から)／	
Plate 3 調査区位置図(1:2,000)	9	6ALC-D区SX157管玉出土状況(南から)	23
Plate 4 6AJJ-D・6ALC-D区遺構配置図(1:200)	11	Plate 16 6ALC-D区SD148土師器・短頸壺出土状況(南から)／6ALC-D区SX149・SK160(南から)	
Plate 5 6ALC-D区SD147・SX153・SK156平面図(1:100)・断面図(1:50)	13	／6ALC-D区SX149中層遺物出土状況(西から)／6ALC-D区SX149下層遺物出土状況(西から)／6ALC-D区SK150・SX151検出状況(南から)／6ALC-D区SX153検出状況(西から)／6ALC-D区SX154・SX161検出状況(東から)／6ALC-D区ST155(東から)	24
Plate 6 6ALC-D区SD148・SX149・SX154・ST155・SK160・SX161平面図(1:100)・断面図(1:50)	14	Plate 17 6ALC-D区SD147・SK156検出状況(南から)／6ALC-D区SD147断面(南から)／6ALC-D区SK156断面(東から)／6AJJ-D区(北東から)／6AJJ-D区西半(南西から)／6AJJ-D区SD144鬼瓦出土状況(北から)／6AJJ-D区SK145(南から)／6AJJ-D区SK146検出状況(南から)	25
Plate 7 6ALC-D区SK150・SX151・SK152平面図(1:100)・SK150・SX151断面図(1:50)	15	Plate 18 6AJE-C区SD164・SD165(南から)／6AJE-C区SD164断面(南から)／6AJC-G区SD163検出状況(南東から)／6AJC-G区SK162(南東から)／6AJJ-D区作業風景(南西から)／6ALC-D区作業風景(北から)／指導委員会(南から)／現地説明会(南西から)	26
Plate 8 6ALC-D区SX157平面図(1:20)・断面図(1:20)・ガラス玉・管玉出土状況(1:2)	16	Plate 19 出土遺物	27
Plate 9 6AJJ-D区SD144・SK145平面図(1:100)・SD144断面図(1:50)	17	Plate 20 出土遺物	28
Plate 10 6AJJ-D区SD166・耕作溝平面図(1:100)・断面図(1:50)	18		
Plate 11 6AJC-G区・6AJE-E区平面図(1:100)・SK162・SD164・SD165断面図(1:50)	19		
Plate 12 6AJJ-D区・6ALC-D区出土遺物(1:4)	20		
Plate 13 6AJJ-D区・6ALC-D区出土遺物(1:4)管玉・ガラス玉(1:2)	21		
Plate 14 6ALC-D区SD148出土石斧(1:2)	22		
Plate 15 6ALC-D区より政庁を望む(南から)／6ALC-D区(北東から)／6ALC-D区SD148検出状況(南西から)／6ALC-D区SD148西断面(南から)／6ALC-D区SD148南西断面(南			

## カラー図版目次

Color Plate 1 6ALC-D区(西から)6AJJ-D区SD144(南から)	Color Plate 3 SX157ガラス玉出土状況(北から)SX157ガラス玉・管玉出土状況(西から)
Color Plate 2 6AJE-C区(東から)6AJC-G区(東から)	Color Plate 4 管玉・ガラス玉

# I. はじめに

鈴鹿市広瀬町に所在する長者屋敷遺跡は、平成4年度から始まった鈴鹿市教育委員会による発掘調査によって、8世紀後半の伊勢国府跡であることが明らかとなった。

平成5年度から7年度にかけて、政庁域の範囲確認調査を行い、正殿、後殿、東西脇殿、そしてそれらを結ぶ軒廊、更に東・西・北辺の築地塀を確認した。平成11年度の調査で南門を確認したことで政庁全体の構造、規模がほぼ明らかとなった。また、平成12年度調査では政庁西隣に「西院」とも呼ばれる区画を確認している。その他、平成8年度以降、政庁より北部において調査が行われ、瓦葺礎石建ち建物が整然と建ち並び、

築地ないし土塁などで囲まれた区画が確認されている。

瓦などの分布から知られる遺跡の範囲は、政庁周辺から北へと広がっているため、調査の主眼は自然と政庁周辺から北部に向けられ、政庁から南における発掘調査は、道路の舗装工事に伴う試掘調査が行われたのみであった。

下野国府跡や近江国府跡では政庁南門から南へと続く、朱雀大路とも呼べるような道路が存在し、その道沿いに国司館と推定されている建物群などが確認されている。そこで今回、南門から南へと続く道路を想定し、政庁から南における遺構の広がりを確認するために調査区を設けた。

Tab. 3 調査履歴

次数	調査年度	調査区記号	所在地	調査期間	面積	調査原因	概要
プレ1次	1997	A地区 B地区	広瀬町南野 広瀬町字下			学術	礎石建物 基壇
1次	1992	基礎1	広瀬町字基礎1247, 1248	921110~930129	110 115 110	学術	礎石き遺構
		南野1	広瀬町字南野971				礎石建物
		寛子1	広瀬町字寛子981				瓦葺
2次	1993	6A1-F	広瀬町中起1224	931129~940228	62	学術	政庁西隣
		6AJA-A-1	広瀬町字下1134				政庁後殿、軒廊
		6AJA-A-2	広瀬町字下1134				政庁後殿
		6AJA-A-3	広瀬町字下1137				政庁東側塀
		6AJA-D	広瀬町字下1140				礎石柱礎、東外溝
		6AJD-A	広瀬町字下1141				政庁東内溝、東外溝
3次	1994	6AJA-A-4	広瀬町字下1132, 1133	941006~941227	350	学術	政庁西院跡、正殿、西軒廊
		6AJA-J	広瀬町字下1131				政庁西院跡、西内溝、西外溝
3-2次	1994	基壇調査区	名古屋市東区 亀山市能登野町字中土居	940801~940817	2700	市発掘	遺構
4次	1995	6AJA-A-5 6AJA-A-5 6A11-B	広瀬町字下1132, 1133 広瀬町字下1135 広瀬町字中起1227-1	950920~951219	254	学術	政庁西内溝、西院跡 政庁後殿 政庁北外溝
4-2次	1995	基壇調査区	広瀬町中起1226	950605~950713	1600	市発掘	遺構
5次	1996	A地区	広瀬町字下	960620~960716	133	市発掘	礎石柱礎、溝
6次	1996	A地区	広瀬町字下	960625~960719	288	市発掘	溝
7次	1996	6A1E-A	広瀬町字南野972, 972-1, 972-2, 973	961007~970121	580	学術	礎石柱礎、礎石建物、溝
8次	1997	6A1F-B	広瀬町字基礎1279-2	971016~980210	632	学術	明透瓦・礎石建物、溝
9次	1997	A地区	広瀬町字下	980223~980320	21	市発掘	政庁北院跡
		A地区	広瀬町字下				政庁西院跡
10次	1998	6A1F-B	広瀬町字基礎1279-3, 1279-5	980901~981228	1014	学術	礎石建物、溝、土坑
11次	1999	6AJA-H	広瀬町字下1176	990901~000131	188, 4	学術	溝
		6AJA-FG	広瀬町字下1175, 1175-1				遺構なし
		6AJC-A	広瀬町字下1093				溝、礎石建物
		6AJC-D	広瀬町字下1130				南門
12次	2000	6A1I-CF	広瀬町中起1226	001001~010311	207, 9	学術	溝
		6A1E-B	広瀬町中起1229-1				遺構なし
		6A1D-C	広瀬町字下1018-1, 1020-1				壁穴住居、溝
		6A1D-D	広瀬町字下1017				礎石柱礎
		6A1D-E	広瀬町字下1016				礎石柱礎
		6A1D-H	広瀬町字下1013-1				礎石柱礎、溝
13次	2001	6A1D-AB	広瀬町中起1240-3, 1237	010920~020314	147, 484, 2	学術	溝、土坑
		6A1D-C	広瀬町中起1240-1, 2				溝、土坑
		6A1D-D	広瀬町中起1241				83
14次	2001	6A1F-AB	広瀬町中起1282-1	020106~020111	246	市発掘	礎石建物、溝
15次	2002	6AJJ-D	広瀬町字下1154	020424~020812	563, 5, 486, 65, 7, 68, 9	学術	溝、土坑
		6A1C-D	西宮田町字東起1015-8				溝、土坑、古溝、土坑墓
		6AJC-G	広瀬町字下1125				溝、土坑
		6A1E-C	広瀬町字下1120-1				溝
16次	2002	6AJF-B	広瀬町字下1152	020620~020825	205, 164, 164, 198, 198, 114, 114, 522, 548, 166, 44, 3, 204, 203, 166, 1, 51, 2, 213, 90, 4, 5, 4640	市発掘	溝、土坑、小柱穴
		6AJH-B	広瀬町字下1079				溝、土坑
		6AJH-D	広瀬町字下1077				溝、小柱穴
		6A1F-B	西宮田町字東起1333				土坑
		6A1G-C	西宮田町字東起1359				礎石柱礎
		6A1G-E	西宮田町字東起1362				土坑
		6A1I-B	西宮田町字東起1407				土壁埋溝
		6A1B-B	西宮田町字東起1015-5				礎石柱礎、溝、土坑
		6A1F-A	西宮田町字東起1335, 1336, 1337, 1344				溝、土坑
		6AKD-A	西宮田町字東起1355				土坑
		6A1C-D	西宮田町字東起1322				溝、土坑
		6AJJ-F	広瀬町字下1162				溝
		6A1E-G	広瀬町字下1101				溝
		6A1D-C	西宮田町字東起1015-12				方形埋溝、古溝埋溝、土坑
		6AJI-B	広瀬町字下1114				溝、小柱穴
		6AJF-G	広瀬町字下1148, 1147				小柱穴
		6A1F-D	西宮田町字東起1332				土坑、溝
6AJI-E	広瀬町字下1109	土坑、溝					
6A1G-C	西宮田町字東起1360	土坑、溝					
6A1C-E	西宮田町字東起	溝					
17次	2002	6A1B-ABCE	広瀬町西野3300	020404~021130	4640	市発掘	礎石柱礎、溝、壁穴住居
合計					2019, 7		



## II. 遺構と遺物

### 1. 基本層序

基本層序は以下の通りである

I層：表土・耕作土

II層：クロボク土

III層：漸移層

IV層：褐色砂質シルト層。いわゆる地山

V層：黄褐色砂質シルト層

VI層：砂礫混じり黄褐色砂質シルト層

### 2. 6ALC-D区 (Plate4)

この調査区は、政庁南門よりおよそ330m南に位置し、台地の辺縁部にあたる。遺構検出面はII層・III層が残存していなかったため、耕作土を0.2~0.3m除去した直下のIV層上面である。調査の結果、南北溝1条、古墳の周溝（矢下5号墳）、埋葬主体部、土坑墓5基、土坑4基などを検出した。

**溝SD147 (Plate5)** 調査区西側で検出された南北溝である。検出面での幅は、2.4~2.9m、深さ0.1~0.3m、延長およそ7mを測る。政庁の中軸線から内法で16.7mを測る。この溝は数度掘り直されており、形状は底面中央がやや高く、両サイドが深く掘りこまれており、道路の痕跡と考えられる。土師質の土器片や近世陶器片が出土している。土坑SK156に切られている。**周溝SD148・埋葬主体部SX157 (Plate6, 8)**

調査区中央において古墳の周溝南半分を検出した。矢下古墳群は4基の古墳の存在が知られる。1~3号墳は鈴鹿市内に所在し、4号墳は亀山市内に所在する。3号墳は道路によって半が破壊されてしまったが、現存する。しかし、2号墳はその正確な位置が不明であるため、今回検出された古墳は新たに確認された古墳として5号墳と命名した。検出面内法で直径およそ14mを測る。周溝は、幅0.95~3.8m、深さ0.1~0.7mを測り、南から西にかけて溝の幅が徐々に広くなり、かつ、深くなる。周溝西側では上層に墳丘側から崩れて流れ込んだ盛土と思われる黄褐色土・褐色土の混ざった層がみられる。この層は徐々に崩れ、流れ込んでいったというよりは一気に崩れ込んだように思われる。周溝内からは国府造営期に併行する時期の遺物やそれより新しい時期の遺物は見られないことから、早い時期に埋まっていたものと思われる。また、周溝内からは土師器・短頸壺2点と弥生土器片、石斧が出土している。

墳丘中央で一部拡張したところ埋葬施設と思われる東西約3m×南北約1mの埋葬主体部SX157が確認された。SX157は検出面から深さ2~10cmを測り、非常に残りが悪いなか、2地点からガラス玉・管玉がまと

まって出土した(Plate8)。また、西側からは赤色顔料が集中的に検出され、わずかながら細かい土器片が出土している。

また、西側では小柱穴が周溝に沿って検出された。**土師器短頸壺**(4, 5) 4は口径108mm、推定器高122mm、5は推定口径97mm、推定器高87mm。いずれも明赤褐色を呈し、体外外面はケズリ、内面はナデによる調整を施す。4はSD148の南東部、5は西部のほぼ周溝の底面から出土している。

**磨製石斧**(94) 両刃石斧。黒色粘板岩でややもろい。へき開に沿って割れており、使用中の破損と思われる。破損後、再研磨されている。

**ガラス玉**(21~93, Tab.5) 74点(破片2個体分含む)が出土した。5mmを境として、5mm以上の小玉(34点)、5mm以下の粟玉(40点)の2種類に分けることができる。製作技法も小玉は鋳型により、粟玉は引き伸ばし技法によって作られる。色は青、緑、黄色とバラエティに富む。

**管玉**(16~20, Tab.4) 緑色凝灰岩製4点、碧玉製1点が出土した。2cmを超える16, 17と1.5cm前後の19, 20の2種類に分けられる。19, 20は明らかに一方から穿孔するが、16, 17は双方から穿孔している可能性がある。

**弥生土器・壺**(14) 推定口径204mm。口縁部のみ残存する。風化が著しく、調整は不明である。

### 土坑墓SX149 (Plate6)

土坑墓SX149は矢下5号墳の墳丘上、SX157の東側に隣接した位置で検出した。検出面で東西約0.9m、深さ0.4mを測る。北側が調査区外へと及ぶため、南北規模は1.7m以上である。直径1.1m程の円形の土坑SK160を切る。埋土からは2個体分の破砕された壺型土器片が掘り方に添うように並べられたような状態で出土した。

**弥生土器・壺**(7, 8) 7は口縁から頸部にかけて約1/2が残存している。口縁部は板などの工具によって面取りをし、下半を指で押さえ波状にし、頸部は板ナデの後、細かい櫛によって横方向に調整する。8は体外上半が出土した。外面はハケによる調整後、撫で消し、4条の直線文を施し、赤色顔料を塗布する。内面はハケによる調整。

**土坑SK150 (Plate7)** 2.2m×1.6mの不整形の土坑である。中央やや北西より赤色顔料が少量ではあるが集中して検出された。

**土坑墓SX151 (Plate7)** 約3.5m×1.1m、深さ0.15~0.2mの土坑墓と考えられる。木棺のような痕

跡は確認できなかった。少量の土器片が出土した。

**弥生土器・壺 (13)** 体部の一部のみ出土。ナデ調整の後、上半にはキザミを施した凸帯を4条巡らし、下半はハケによる調整を施す。内面はナデによる調整。

**土坑墓 SX153 (Plate5)** 3.5m×0.6m、深さ0.15mを測る。SD147の西側で検出した。

**弥生土器・壺 (10)** 推定口径224mm。口縁内面は板ナデによる調整。頸部に直線文を施す。

**土坑墓 SX154・SX161 (Plate6)** 矢下5号墳の墳丘上、SX157の南東、SX149の南に隣接した位置で検出した。SX154は2.7m×0.8m、深さ約0.2mを測り、SX161と重複し、切り合い関係からSX161より新しい。SX161はおおよそ2.7m×1.1mを測る。

**弥生土器・壺 (9, 15)** 9は口縁端部はナデによる調整後、下半を指で強く押し波状にし、上半を指もしくは工具によっておさえ、粗い刻みをつくる。上箕田遺跡において類似した形状の壺が出土している。15はおそらく肩部の破片で、ナデ調整後、直線文、波状文、山形文を施す。

**竪穴住居 ST155 (Plate6)** 西側半分を矢下5号墳によって壊されており、非常に浅く残りが悪い。支柱穴は確認できなかったが、中央には炬跡と思われる焼土がみられる。

**弥生土器・壺 (6)** 小片で口径は復元できなかった。口縁部にはキザミを施し、外面はハケによる調整、内面にはススが付着している。

### 3. 6AJJ-D区 (Plate4)

この調査区は政庁南門よりおよそ200mほど南に位置し、平成13年度末に行った分布調査では、この地区の周辺で須恵器、瓦片がわずかであるが採集されている。遺構の検出は、II層は残存しておらず、耕作土を0.15～0.35m除去したIII層もしくはIV層上面で実施した。

調査の結果、南北溝2条、土坑2基、耕作溝7条が検出された。溝SD144・土坑SK145・土坑SK146は、完掘したが、溝SD166は一部断面観察のため掘削するに留めた。

調査区西半で検出された耕作溝が途切れるあたりに南北に連続する非常に浅い土坑状の痕跡が見られる。遺物も出土していないため、時期も性格も不明であるが、ほぼ政庁中軸線上にあたる。

**溝SD144 (Plate9)** 調査区の東側で検出した南北溝である。検出面での幅は0.7～1m、深さ0.15m、延長約15mを測り、方位はN1°Wを示す。少量の瓦(1)と小片ではあるが鬼瓦が出土した。政庁中軸線から芯芯間で29.7mを測る。

**鬼瓦 (3)** 上層出土。頰骨あたりか。過去の調査において鬼瓦は南野地区1点、長塚地区6点、荒子地区1

点出土しており、いずれも同范と考えられている。今回出土した鬼瓦の部位はこれまでに出土していないため、正確なことは不明であるが、范が異なる可能性が考えられる。

**土坑SK145 (Plate9)** SD144の東側で検出された。深さは約0.6mを測る。弥生土器片が数点出土した。

**弥生土器・壺 (11, 12)** 11は推定口径207mm。外面は縦方向にハケによる調整を施し、内面は上部のみに横方向にハケによる調整を施す。口縁端部は摩耗によりはつきりとしなが、キザミが施されていたと思われる。12は推定底径62mm。外面はハケによる調整。

**土坑SK146 (Plate4)** 1m×0.8m、深さ約0.1mを測る。非常に浅い不整形な土坑である。少量ながらも瓦(2)を含む。

**溝SD166 (Plate10)** 調査区西隅で南北に続く溝状の遺構を検出した。調査区外へ続く為、全容は不明である。

### 4. 6AJE-C区 (Plate11)

政庁南門からおよそ110m程南に位置する。6ALC-D区調査区西で確認されたSD147の延長を確認するため、調査区を設けた。

この調査区でもII層、III層は残存せず、耕作土を0.2～0.3m程除去したIV層上面で行った。その結果、工作機械による著しい攪乱のなか、南北溝SD164、SD165を確認した。政庁の中軸線からSD165まで内法でおよそ13mの距離を測る。

**溝SD164** 幅0.4～0.5m、深さ0.1m、延長約4.5m、SD165とほぼ平行し、その距離は芯々間で3.2mを測る。

**溝SD165** 幅0.3～0.6m、深さ約0.1mを測る。かろうじて痕跡をとどめる状態であったため、一部土層を確認するため掘削するに留めた。

### 5. 6AJC-G区 (Plate11)

政庁南門より南へおよそ30mに位置する。遺構の検出はII層、III層が残存していなかったため、耕作土を0.25～0.5m除去したIV層ないしV層上面で行った。政庁に近接するため、何らかの遺構の検出を期待したが、調査地が植木の栽培地であったため、約0.5m程攪乱されており、土坑1基、溝1条を検出するにとどまった。

**土坑SK162** 1.3m×1m以上、深さ約0.4mを測る。調査区外へと続くため、全体の規模は不明である。土坑と考えたが、溝の端部の可能性も考えられる。遺物は見られなかった。

**溝SD163** 幅0.2～0.3m延長3.3mを測る。途中1m程途切れる。近世陶器片を含んでいる。後世の地境の溝と思われる。

### Ⅲ. まとめ

これまで、昭和21年極東米軍撮影による航空写真に政庁から南の台地の先端に向かって続く道がみられることや、切り通しとおぼしき地形をみてとることができることなどから、政庁から南へと続く道路の存在が考えられてきた。今回、その道路を想定して、調査区を設けた。

調査の結果、6AJJ-D区東では南北溝SD144、西では溝状遺構SD166、6ALC-D区西では南北溝SD147、6AJE-C区南北溝SD164、SD165を検出した。6AJJ-D区で検出した南北溝SD144は少量ながらも主に瓦片を含むことから国府が営まれていた時期に掘削されたと考えられる。しかし、政庁中軸線より東へおよそ30mを測り、道路の側溝とは考えがたく、また、16次調査の際、SD144の延長が確認できなかったことから、何らかの施設の周りに巡る区画溝、もしくは、建物の周囲に巡る溝の可能性が考えられる。

6ALC-D区南北溝SD147、6AJJ-D区溝状の遺構SD166、6AJE-C区南北溝SD164、SD165は政庁中軸線から13～16.7mを測り、これらは一連のもので、航空写真にみられる政庁から南へと続く道とほぼ同じ位置に当たり、その道路の痕跡であると考えられる。この溝が掘削された時期は出土した遺物に細片が多く、また、国府造営時の遺物を含んでいないため、この溝(道)が朱雀大路の側溝であるとは言えないが、踏襲して再掘削された可能性は考えられる。

また、航空写真には今回確認された矢下5号墳と思われる高まりがみとれる。周溝内からは国府造営時期やそれ以降の遺物は見られず、周溝は早くに埋まったと考えられるが、国府が造営された際に古墳の墳丘は完全に削平されていなかった可能性も考えられる。

その他、過去の調査では、これまで国府造営以前の遺物が若干出土していたが、遺構は確認できていなかった。長者屋敷遺跡より下流の鈴鹿川左岸の台地上には弥生時代中期から後期にかけての遺跡が多く分布しており、今回の調査で、同様に台地上に弥生時代の遺構が分布することが確認された。

#### 〔参考文献〕

- 宇河雅之1996「長者屋敷遺跡」『長者屋敷遺跡・峯城跡・中富田西浦遺跡』三重県埋蔵文化財センター  
 宇河雅之1997「伊勢国府の方格地割」『研究紀要第6号』三重県埋蔵文化財センター  
 辻公則1996「国府政庁の規格性～近江国・伊勢国について～」『鈴鹿市埋蔵文化財年報Ⅲ』鈴鹿市教育委員会  
 新田剛1999「伊勢国府跡」鈴鹿市教育委員会  
 新田剛2000「伊勢国府跡2」鈴鹿市教育委員会  
 新田剛2001「伊勢国府跡3」鈴鹿市教育委員会  
 山中敏史1994「古代地方官衙遺跡の研究」瑞書房  
 山本保志1995「長者屋敷遺跡(伊勢国府跡)第3次調査」『伊勢国分寺・国府跡2』鈴鹿市教育委員会

Tab. 4 管玉観察表

図版番号	出土地点	石材	色調	最大径mm	長さmm	重さg	穿孔方法
16	SW①	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	6.28	22.44	1.042	双方?
17	NW②	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	6.1	22.28	1.078	双方?
18	NW③	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	6.17	14.1	0.723	一方
19	排土	緑色凝灰岩	3G7.0/2.0	5.71	15.5	0.414	一方
20	排土	碧玉	3G2.0/1.5	7.63	18.8	1.975	一方

Tab. 5 ガラス玉観察表

図版番号	出土地点	色調	最大径mm	最小径mm	厚さmm	重さmm	製作技法	図版番号	出土地点	色調	最大径mm	最小径mm	厚さmm	重さmm	製作技法
21	NE A	5B2.5/4.5・透明	5.71	—	4.09	0.194	鉋型	58	SW	365.0/9.0・不透明	3.27	3.23	2.65	0.042	引き伸ばし
22	NE B	5B2.5/4.5・透明	6.30	6.10	4.10	0.214	鉋型	59	SW	80Y4.5/9.0・不透明	3.46	3.27	1.42	0.023	引き伸ばし
23	NE C	5B2.5/4.5・透明	6.25	6.20	4.30	0.209	鉋型	60	SW	5B4.0/8.5・透明	2.78	2.72	2.55	0.032	引き伸ばし
24	NE D	5B2.5/4.5・透明	6.22	6.18	3.90	0.227	鉋型	61	SW	5B6.0/5.0・不透明	3.73	3.63	2.20	0.048	引き伸ばし
25	NE E	5B2.5/4.5・透明	5.60	5.68	3.81	0.171	鉋型	62	SW	5B6.0/5.0・不透明	3.13	3.10	3.20	0.043	引き伸ばし
26	NE F	5B2.5/4.5・透明	5.71	5.61	3.72	0.16	鉋型	63	SW	5B6.0/5.0・不透明	4.50	3.89	1.70	0.043	引き伸ばし
27	NE G	5B2.5/4.5・透明	6.01	5.91	4.23	0.212	鉋型	64	SW	5B6.0/5.0・不透明	3.38	3.20	1.80	0.03	引き伸ばし
28	NE H	5B4.5/5.0・不透明	4.70	4.32	2.62	0.076	引き伸ばし	65	SD18/SU157M	5B6.0/5.0・不透明	3.31	3.29	2.40	0.037	引き伸ばし
29	NE I	5B2.5/4.5・透明	6.40	6.31	4.01	0.226	鉋型	66	SD18/SU157M	80Y4.5/9.0・不透明	4.04	3.57	2.84	0.052	引き伸ばし
30	NE J	5B4.5/5.0・不透明	5.85	5.70	4.22	0.185	鉋型	67	SD18/SU157M	364.0/8.5・不透明	3.44	3.34	2.30	0.038	引き伸ばし
31	NW K	5B6.0/5.0・不透明	3.30	2.92	2.70	0.035	引き伸ばし	68	SD18	5B6.0/5.0・不透明	3.77	3.75	2.48	0.049	引き伸ばし
32	NW L	5B6.0/5.0・不透明	3.55	3.45	2.90	0.045	引き伸ばし	69	SD18	5B6.0/5.0・不透明	3.65	3.60	2.35	0.043	引き伸ばし
33	NW M	80Y4.5/9.0・不透明	4.18	3.95	3.18	0.072	引き伸ばし	70	SD18	80Y5.9/5.0・不透明	3.42	3.35	2.35	0.037	引き伸ばし
34	NW N	5B6.0/5.0・不透明	3.53	3.30	2.11	0.034	引き伸ばし	71	SD18	5B6.0/5.0・不透明	3.12	3.05	2.00	0.029	引き伸ばし
35	NW O	80Y4.5/9.0・不透明	3.13	2.92	2.02	0.029	引き伸ばし	72	排土	5B2.5/4.5・透明	6.31	6.28	3.90	0.215	鉋型
36	NW P	80Y4.5/9.0・不透明	4.00	3.90	2.32	0.053	引き伸ばし	73	排土	5B2.5/4.5・透明	7.37	7.16	4.10	0.309	鉋型
37	NW Q	80Y4.5/9.0・不透明	3.71	3.48	2.00	0.031	引き伸ばし	74	排土	5B2.5/4.5・透明	6.32	6.18	3.89	0.217	鉋型
38	NW R	80Y4.5/9.0・不透明	3.19	3.08	2.28	0.033	引き伸ばし	75	排土	5B2.5/4.5・透明	7.18	7.09	4.21	0.317	鉋型
39	NW S	80Y4.5/9.0・不透明	2.91	2.88	1.96	0.023	引き伸ばし	76	排土	5B6.0/5.0・不透明	5.90	5.77	4.53	0.227	鉋型
40	NW T	80Y4.5/9.0・不透明	2.79	2.75	1.38	0.014	引き伸ばし	77	排土	5B6.0/5.0・不透明	5.88	5.78	4.32	0.213	鉋型
41	NW U	5B6.0/5.0・不透明	4.50	4.26	2.82	0.072	引き伸ばし	78	排土	5B6.0/5.0・不透明	5.72	5.63	4.88	0.229	鉋型
42	NW V	80Y4.5/9.0・不透明	3.82	3.20	2.05	0.032	引き伸ばし	79	排土	5B6.0/5.0・不透明	5.82	5.71	4.38	0.212	鉋型
43	NW W	80Y4.5/9.0・不透明	3.90	—	1.65	0.034	引き伸ばし	80	排土	80Y4.5/9.0・不透明	2.81	2.76	1.81	0.022	引き伸ばし
44	NW X	80Y4.5/9.0・不透明	3.78	3.35	1.60	0.029	引き伸ばし	81	排土	5Y7.5/11.0・不透明	5.48	5.39	3.17	0.185	引き伸ばし
45	NW Y	5B6.0/5.0・不透明	3.39	3.12	1.55	0.021	引き伸ばし	82	排土	5B2.5/4.5・透明	6.48	6.30	3.89	0.224	鉋型
46	NW Z	5B6.0/5.0・不透明	3.34	3.20	1.45	0.022	引き伸ばし	83	排土	5B2.5/4.5・透明	6.00	6.29	3.92	0.224	鉋型
47	NW ①層	5B6.0/5.0・不透明	3.00	2.90	2.40	0.031	引き伸ばし	84	排土	5B2.5/4.5・透明	6.02	5.98	4.18	0.212	鉋型
48	NW ②層	—	2.60	—	1.52	0.014	引き伸ばし	85	排土	5B2.5/4.5・透明	5.98	5.88	3.69	0.181	鉋型
49	NW ③層	80Y4.5/9.0・不透明	4.80	4.56	3.07	0.107	引き伸ばし	86	排土	5B2.5/4.5・透明	5.60	—	3.49	0.16	鉋型
50	NW ④層	80Y4.5/9.0・不透明	4.39	4.29	3.28	0.092	引き伸ばし	87	排土	5B6.0/5.0・不透明	5.72	5.67	4.47	0.205	鉋型
51	NW ⑤層	80Y4.5/9.0・不透明	4.00	3.82	2.71	0.062	引き伸ばし	88	排土	5B2.5/4.5・透明	7.13	7.02	3.93	0.282	鉋型
52	NW ⑥層	5B7.0/5.0・透明	2.75	2.66	1.65	0.02	引き伸ばし	89	排土	5B2.5/4.5・透明	7.20	7.12	3.63	0.267	鉋型
53	NW 検出	5B6.0/5.0・不透明	3.22	3.10	2.68	0.032	引き伸ばし	90	排土	5B2.5/4.5・透明	6.00	5.92	4.50	0.227	鉋型
54	NW ⑦層	5B6.0/5.0・不透明	4.00	3.75	2.90	0.063	引き伸ばし	91	排土	5B2.5/4.5・透明	5.71	5.66	4.33	0.209	鉋型
55	NW ⑧層	5B2.5/4.5・透明	6.00	5.95	4.30	0.22	鉋型	92	排土	5B2.5/4.5・透明	5.71	5.50	4.28	0.21	鉋型
56	SE ②層	5B2.5/4.5・透明	6.90	6.82	4.35	0.3	鉋型	93	排土	5B2.5/4.5・透明	—	—	—	—	—
57	SW	80Y4.5/9.0・不透明	3.29	2.80	3.18	0.076	引き伸ばし	—	排土	5B2.5/4.5・透明	—	—	—	—	—

出土地点は、土層階級のために図例のうち左向きを西、右向きを東、南東をSとす。

出土地点は、1層PitAから出土状況の順に相対する。

# Ise Kokufu Site –Preliminary Report No.5–

## Contents

### Introductory remarks

Chapter I Introduction	1	Chapter III Conclusions	4
Chapter II Structural features and artifacts	2	English table of contents and summary	6

## Tables

1. Seat and area of excavation		4. Cylindrical beads	4
2. Structural features		5. Glass beads	5
3. Excavation projects	1	6. Abstract	29

## Plates

1. Location of site around of Ise Kokufu Site	7	15. View of provincial government center area /	
2. Location of excavation area	8	Aerial view of 6ALC-D / Ditch(SD148) / Section	
3. Location of excavation area	9	of ditch(SD148) / Section of ditch(SD148) /	
4. Features of 6AJJ-D and 6ALC-D	11	Section of ditch(SD148) / Pit burial(SX157) /	
5. Plan and section of ditch(SD147), pit		Cylindrical bead found at SX157	23
burial(SX153) and pit(SK156)	13	16. Artifacts found at SD148 / Pit burial(SX149)	
6. Plan and section of ditch(SD148), pit		and pit(SK160) / Artifacts found at SX149 /	
burial(SX149, SX154 and SX161), pit		Artifacts found at SX149 / Pit(SK150) and pit	
dwelling(ST155) and pit(SK156)	14	burial(SX151) / Pit burial(SX153) / Pit	
7. Plan and Section of pit(SK150) and Pit		burial(SX154 and SX161) / Pit dwelling(ST155)	24
burial(SX151) / Plan of pit(SK152)	15	17. Ditch(SD147) and Pit(SK156) / Section of	
8. Plan and Section of pit(SK157) / Cylindrical		ditch(SD147) / Section of pit(SK156) / Aerial	
beads and glass beads found at SX157	16	view of 6AJJ-D / Aerial view of 6AJJ-D /	
9. Plan and section of ditch(SD144) / Plan of		Goblin shaped ornamental ridged-end tile found at	
pit(SK145)	17	SD144 / Pit(SK145) / Pit(SK146)	25
10. Plan and section of ditch(SD166 and farming		18. Ditches(SD164 and SD165) / Section of	
ditches)	18	ditch(SD164) / Ditch(SD163) / Pit(SK162) /	
11. Features of 6AJC-G and 6AJE-C / Section of		Excavation at 6AJJ-D / Excavation at 6ALC-D /	
pit(SK162) and ditches(SD164 and SD165)	19	Conference of supervisors / Public site	
12. Artifacts	20	viewing	26
13. Artifacts	21	19. Artifacts	27
14. Artifacts	22	20. Artifacts	28

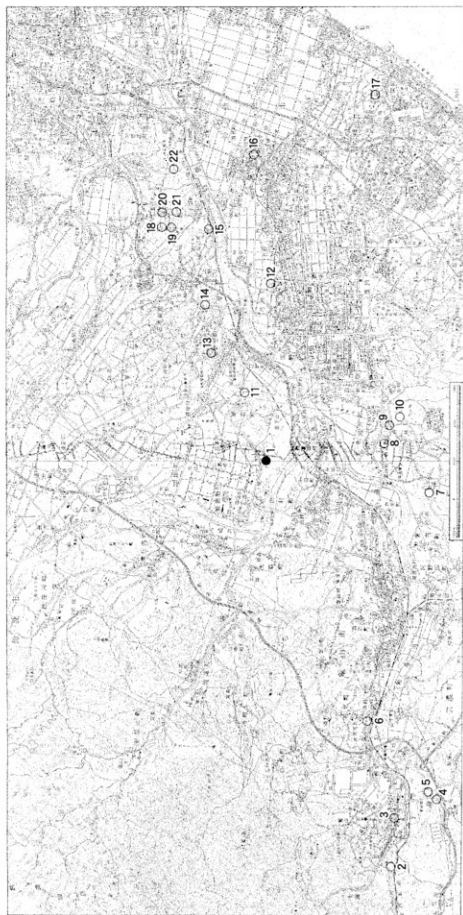
## Colour Plates

1. Aerial view of 6ALD-C / Aerial view of ditches(SD144)
2. Aerial view of 6AJE-C / Aerial view of 6AJC-G
3. Glass beads found at SX157 / Cylindrical beads and glass beads found at SX157
4. Cylindrical beads and glass beads

## Summary

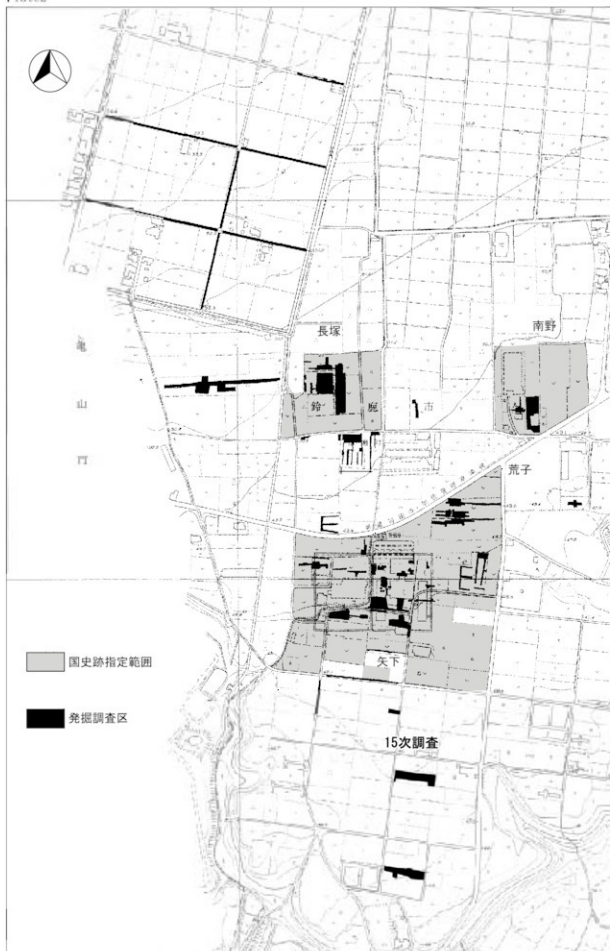
This report summarizes the excavation of Ise Kokufu site, also called Choja-yashiki site, in the 2002 Fiscal year. This site is located at the left terrace of the Anraku River and annexed to Hirose-cho and Nisitomida-cho, Suzuka City, Mie Prefecture, Japan. It was been excavated since the 1992 fiscal year by the staff of the Suzuka city board of education and they found the provincial government center(*kokucho* 国庁) and the other governmental offices(*zoshi* 曹司) in the Nara period. In result, Ise kokufu site was designated a national historic site in March 19,2002.

In the 15th investigation, mounted tomb named Yaoroshi 5th tomb were discovered at area of 6ALC-D. Among the mortuary goods were glass beads and cylindrical beads. Ditch(SD144) were discovered at area of 6AJJ-D. Goblinshaped ornamental ridged-end tile found at ditch(SD144). However, no structural remains of unexpected of Suzaku-ji avenue.

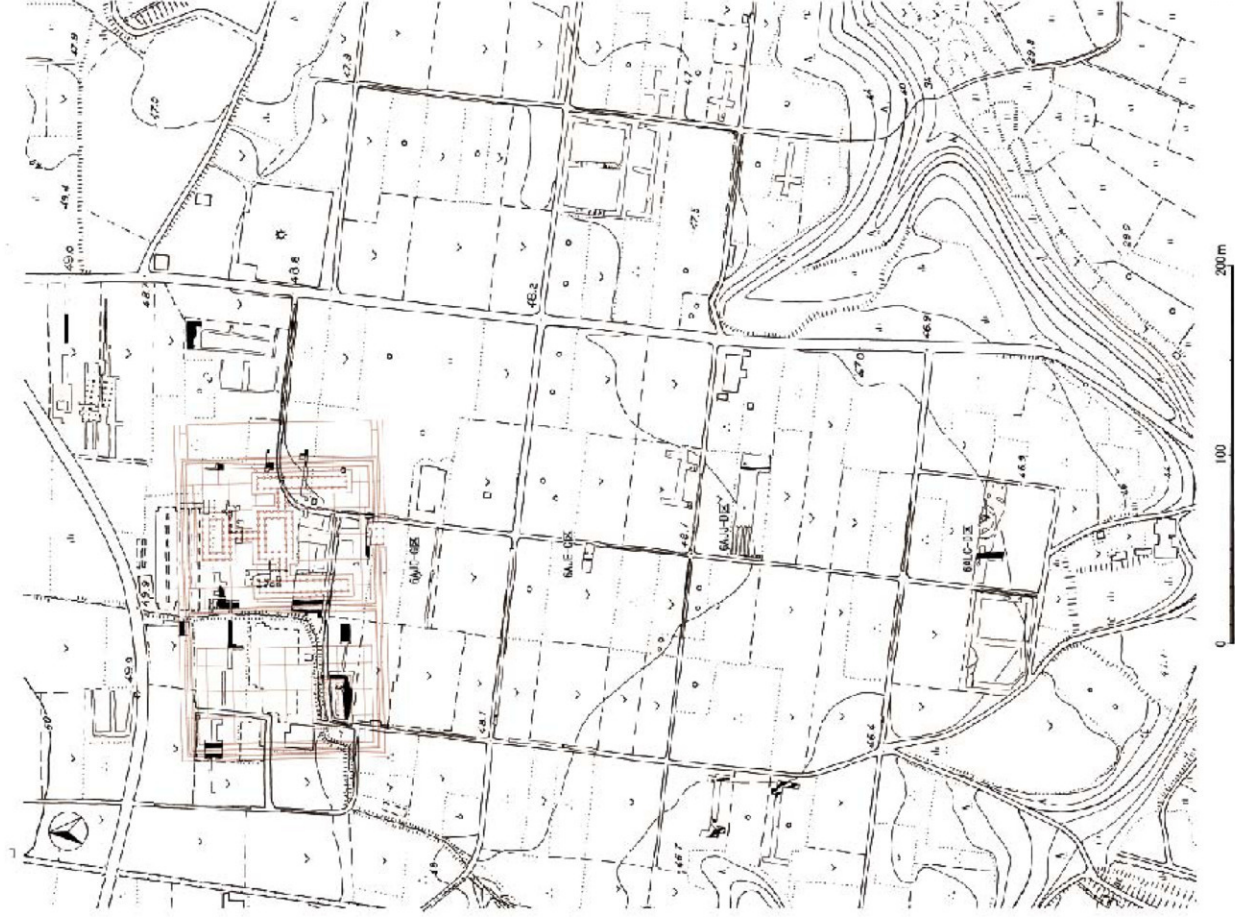


1. 伊勢国府跡 (長者屋敷遺跡) 2. 観音寺遺跡 3. 推定給鹿間跡 4. 切山瓦窯跡 5. 石原遺跡 6. 大森遺跡 7. 八野遺跡・八野瓦窯跡  
 8. 国府A遺跡 9. 三宅神社遺跡 10. 天王山西遺跡 11. 津賀平遺跡 12. 岡田遺跡 13. 川原井瓦窯跡 14. 山の原遺跡 15. 山辺瓦窯跡  
 16. 須賀遺跡 17. 天王遺跡 18. 伊勢国分寺跡 (推定徳寺跡) 19. 狐島遺跡 (河曲郡津跡) 20. 圓分遺跡 (推定尼寺跡) 21. 木田塚上遺跡  
 22. 寺山遺跡

周辺の遺跡(1:100,000)

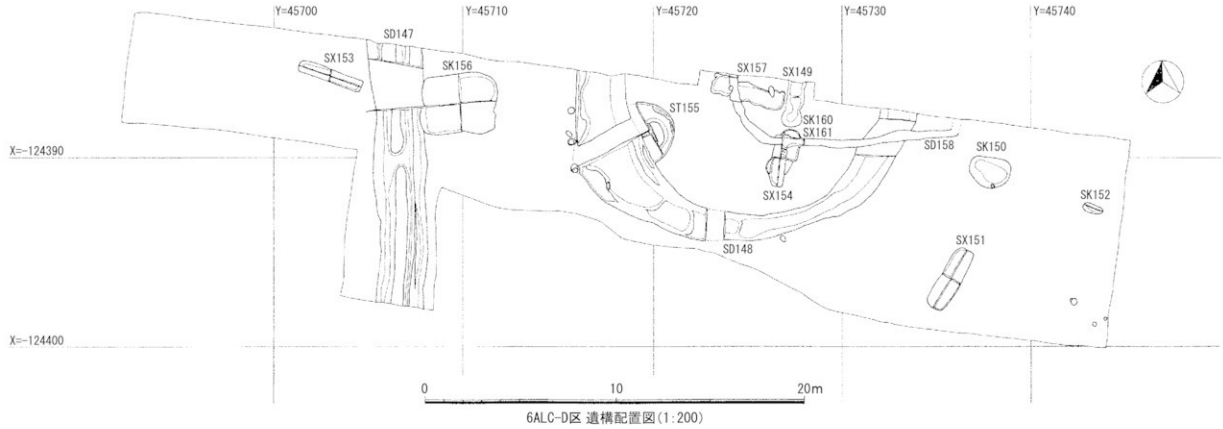
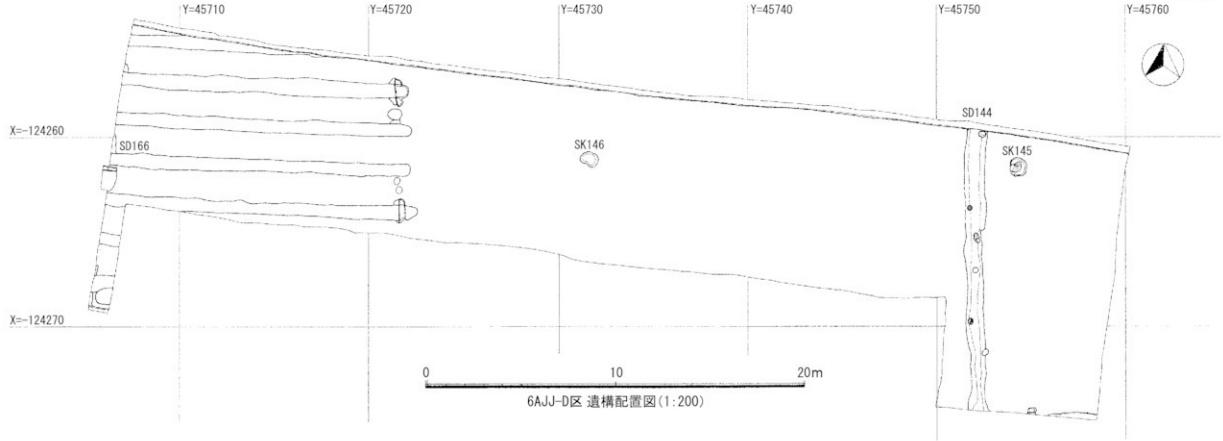


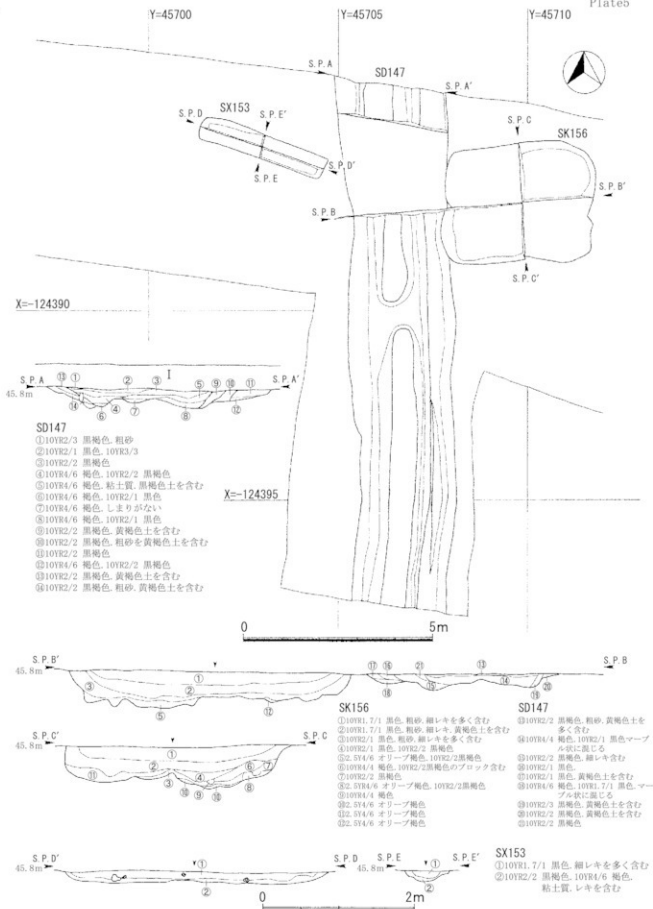
調査区位置図(1:5,000)



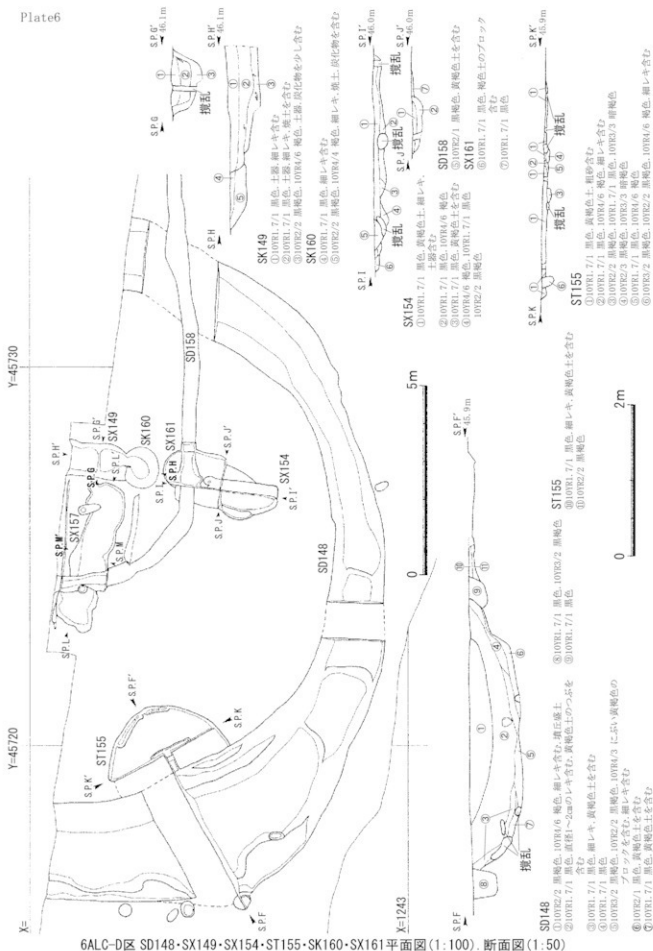
計畫區位圖 (1:2,000)



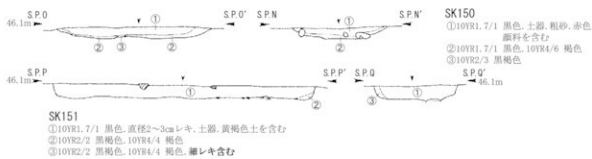
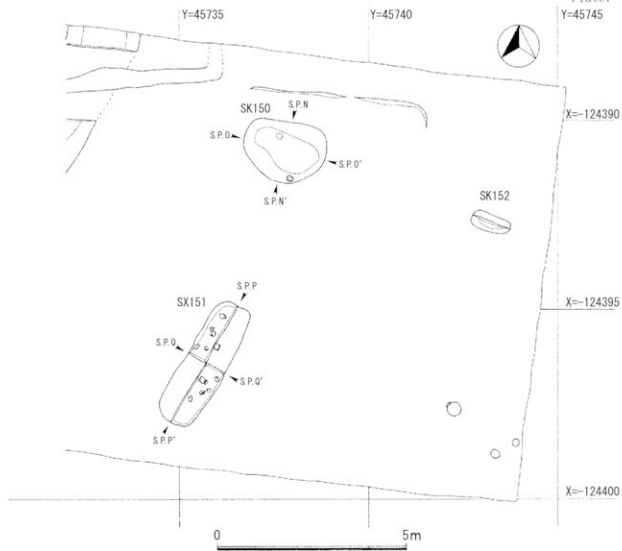




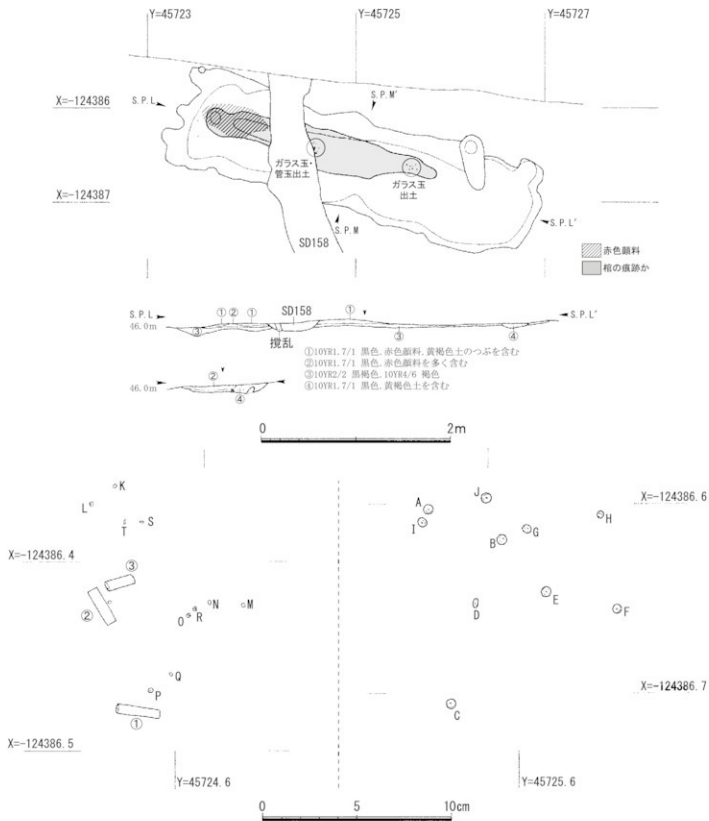
6ALC-D区 SD147・SK153・SK156平面図(1:100) 断面図(1:50)



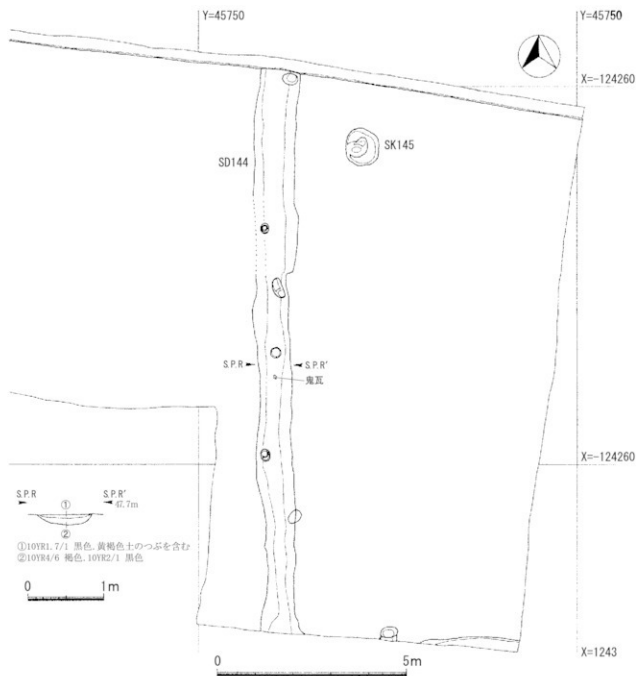
6ALC-D区 SD148・SX149・SX154・ST155・SK160・SX161平面図(1:100)、断面図(1:50)



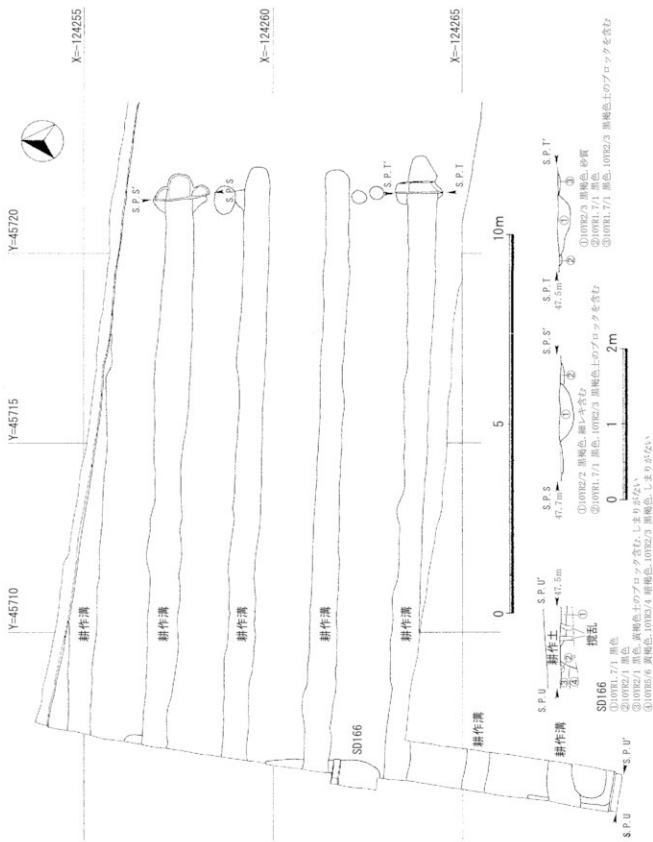
6ALC-D区 SK150・SK151・SK152平面図(1:100) SK150・SK151断面図(1:50)



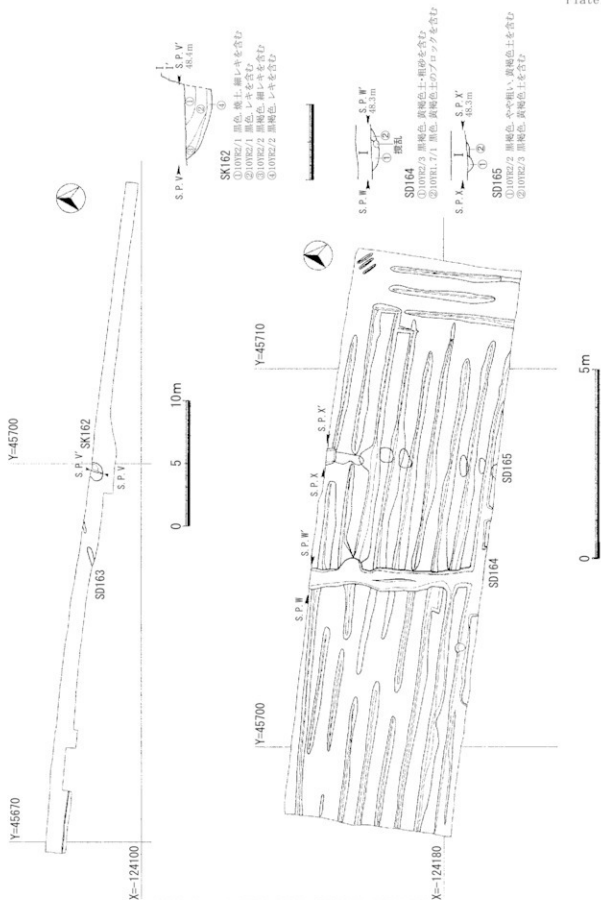
6ALC-D区 SX157平面図・断面図(1:40)  
SX157 管玉・ガラス玉出土状況(1:2)



6AJJ-D区 SD144・SK145平面図(1:100)  
SD144断面図(1:50)



6AJJ-D区 SD166・耕作溝平面図(1:100), 断面図(1:50)

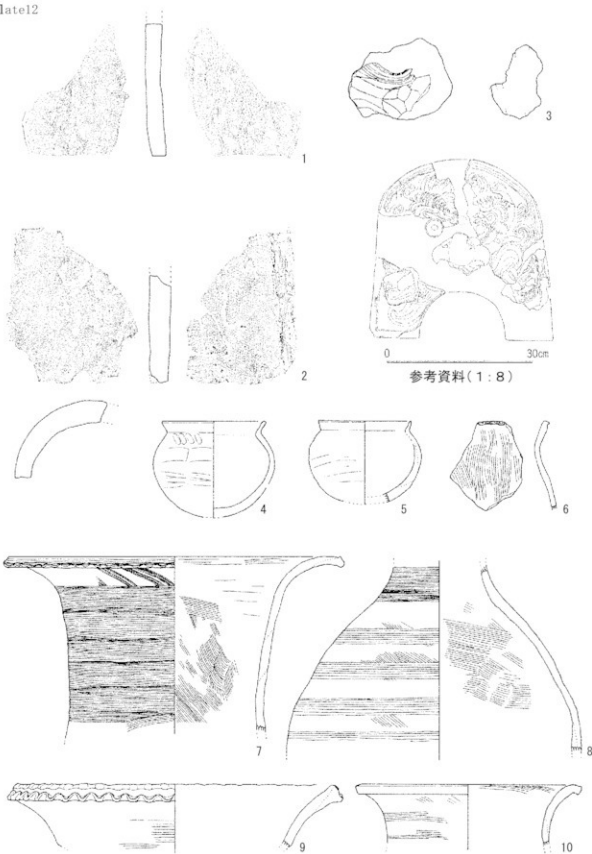


6AJC-G区 平面図(1:300) SK162断面図(1:50)

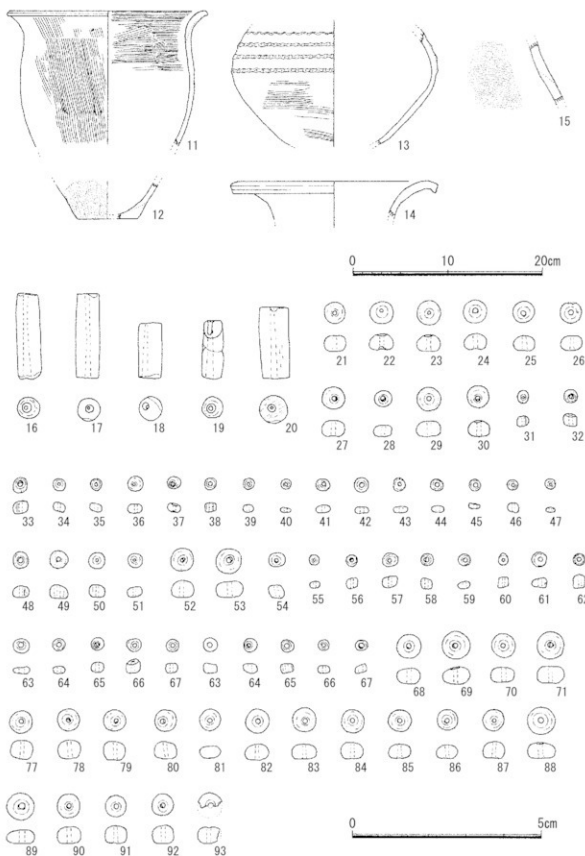
6AJE-C区 平面図(1:100) SD164・SD165断面図(1:50)



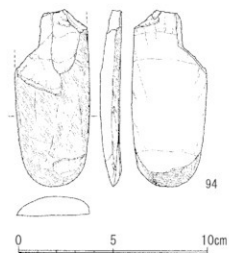
Plate12



6AJJ-D区・6ALC-D区 出土遺物(1:4)



6AJJ-D区・6ALC-D区 出土遺物(1:4) ガラス玉・管玉(1:1)



6ALC-D区 SD148出土石斧(1:2)



6ALC-D区より政庁を望む(南から)



6ALC-D区(北東から)



6ALC-D区 SD148 検出状況(南西から)



6ALC-D区 SD148 西断面(南から)



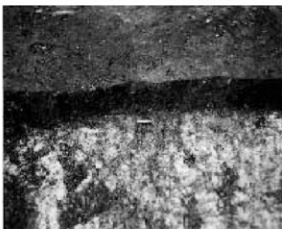
6ALC-D区 SD148 南西断面(南東から)



6ALC-D区 SD148 西断面(南から)



6ALC-D区 SX157 検出状況(北から)



6ALC-D区 SX157 管玉出土状況(南から)



6ALC-D区 SD148 土師器・短頸壺出土状況(南から)



6ALC-D区 SX149・SK160(南から)



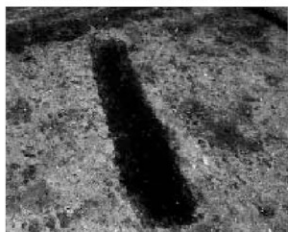
6ALC-D区 SX149 中層 遺物出土状況(西から)



6ALC-D区 SX149 下層 遺物出土状況(西から)



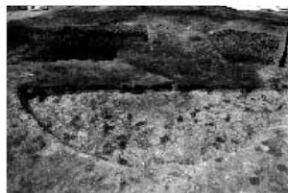
6ALC-D区 SX150・SX151 検出状況(南から)



6ALC-D区 SX153 検出状況(西から)



6ALC-D区 SX154・SX161 検出状況(東から)



6ALC-D区 ST155(東から)



6ALC-D区 SD147・SK156 検出状況(南から)



6ALC-D区 SD147 断面(南から)



6ALC-D区 SK156 断面(東から)



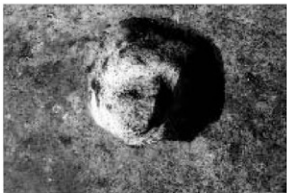
6AJJ-D区 (北東から)



6AJJ-D区 調査区西半(南西から)



6AJJ-D区 SD144 鬼瓦出土状況(北から)



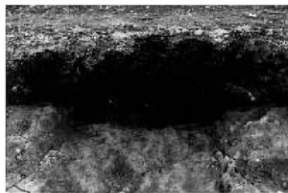
6AJJ-D区 SK145(南から)



6AJJ-D区 SK146(南から)



6AJE-C区 SD164・SD165(南から)



6AJE-C区 SD164 断面(南から)



6AJC-G区 SD163 検出状況(南東から)



6AJC-G区 SK162 断面(南東から)



6AJJ-D区 作業風景(南西から)



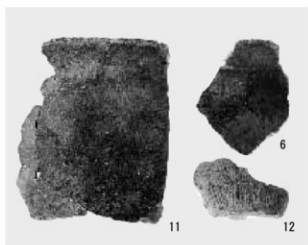
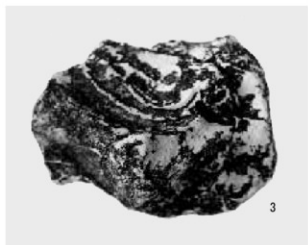
6AJC-D区 作業風景(北から)



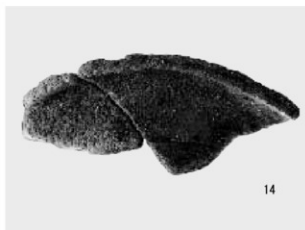
指導委員会(南から)



現地説明会(南西から)







Tab. 6

## 報告書抄録

ふりがな	いせこくふあと5							
書名	伊勢国府跡5							
編著者名	吉田真由美							
編集機関	鈴鹿市教育委員会 鈴鹿市考古博物館							
所在地	〒513-0013 三重県鈴鹿市国分町224番地 TEL0593(74)1994							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ちやうじやまやしき 長者屋敷	ひろせ 広瀬町字矢下 1154番・1120番1 ・1125番 にこみで 西富田町字矢卸 1015番8	24207	306	34° 52′ 43″	136° 30′ 01″	20020424 ) 20020812	1184.1㎡	学術調査
古墳 官衙	弥生・古墳 ・奈良	溝・古墳周溝・ 土壇墓・竪穴住居 土坑・小柱穴		鬼瓦・平瓦・丸瓦・ 土師器・弥生土器・ 石斧・ガラス玉・ 管玉・近世陶器		第15次調査。伊勢国府跡。 弥生時代の土壇墓、古墳を 確認。朱雀大路の確認には 至らなかった。		

---

## 伊 勢 国 府 跡 5

---

発 行 日 2003年3月31日  
編 集 ・ 発 行 鈴鹿市教育委員会  
鈴鹿市考古博物館  
〒513-0013  
三重県鈴鹿市国分町224番地  
TEL 0593 (74) 1994  
FAX 0593 (74) 0986  
E-mail : kokohakubutsukan  
@city.suzuka.mie.jp  
URL : <http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum>  
印 刷 早川印刷株式会社

---



表 紙:アートポストR(キク139K)古紙配合率35%  
内容紙:マツコートグリーン100(キク76.5K)古紙配合率100%

# Ise Kokuhu Site

Preliminary Report No.5

March,2003

Suzuka city Board of Education Mie Pref., Japan